

安心・安全  
住み続けられる  
コミュニティ形成

# 知ら咲か



2014 APRIL No.11

(編集発行) 白瀬川ブロック & 「知らせましょ・咲かせましょ」事務局・広報(住所)宝塚市逆瀬台 1 丁目 3 (TEL)070-5041-4405  
 白瀬川沿いの 8 つのマンション住民有志が、全住民の安心・安全に住み続けられるコミュニティ形成を目標にして、「知らせましょ・咲かせましょ (通称 “知ら咲か”）」という団体をつくりました。「知ら咲か」は「知らせましょ・咲かせましょ」の広報紙です。(事務局へはTEL070-5041-4405 石田まで)

## 「知らせましょ・咲かせましょ」学習会 助け合い活動の現状を振り返り課題を共有 地域の経緯、ワークショップ、防災写真学習実施

三月十六日(日)、知らせましょ・咲かせましょ主催の学習会を開催し三十名を超える参加者が各マンションの見守り、助け合い活動の振り返りと今後の方向性を探りました。加古川グリーンシティ防災会見学時の写真による先進事例も学習しました。引き続き第二回学習会を四月に開催します。

グリーンハイツ集会所での学習会は全国的にも珍しいそれぞれ異なる八マンションで構成される白瀬川兩岸集合住宅協議会の沿革と取り組みや助け合いの輪発足時の強い思いについて鬼頭会長代行が発表しました。次いで助け合いの輪事務局から知ら咲かに至る基本的な考えと流れ、この一年間の活動と今だ不足している点や次年度への課題、ベースになる視点を篠原副事務局長が説明しました。

グループワークは久保田洋一さんの進行でマンション単位を基本に五班に編成したテーブルごとにそれぞれの助け合い、見守り活動の一年間の振り返りと課題の討議発表でした。

学習会の最後は石田事務局長の加古川グリーンシティ見学会の写真による事例紹介と説明が行われました。(二、三頁に詳細を記載) 終了後、参加者懇親会で交流を図りました。

## マンションの見守り・防災について話し合う 3月に続き、2回目の学習会を開催します

3月16日(日)に学習会を開催し、各マンションでこの1年間取り組んできた見守り等の活動について振り返り(話し合い)を行いました。そこで、今回は平成26年度の各マンションの「見守り・防災」について話し合うために、3月に続いて学習会を企画いたしました。

1回目の学習会に参加できなかった方も、是非、ご参加ください。

- ◆日時 4月20日(日) 13時30分～16時30分
- ◆場所 逆瀬川グリーンハイツ集会室
- ◆内容

- ① 1回目学習会の振り返り
- ② 各マンションでの26年度の「見守り・防災」についての話し合いと発表



活発に意見を出し合ったマンション単位でのグループワーク



- ◆主催 知らせましょ咲かせましょ (知ら咲か) 事務局
- ◆共催 宝塚市社会福祉協議会  
 逆瀬川地域包括支援センター

# 「マンションの助け合いの輪 防災活動について

## 考えましょう」学習会のご報告

宝塚市社会福祉協議会 谷口 英嗣

3月16日（日）に逆瀬川グリーンハイツ集会所において、「知らせましょ咲かせましょ」主催の学習会が開かれましたので、そのご報告をさせていただきます。

当日は、白瀬川両岸集合住宅地域の8つのマンション全てから30名を超える住民の皆さまが参加され、進行役に久保田さんを迎え、3時間に及ぶ学習会が開催されました。

今回の学習会は、昨年行われました「見守り学習会」で計画した活動について話し合うことをメインに、下記の内容について協議や報告が行われました。

進行役の久保田さんが学習会の進め方を説明。「つぶやき」も大切に！



### 学習会の内容

1. 白瀬川両岸集合住宅協議会の取り組み（報告）
2. 知らせましょ・咲かせましょの設立（報告）
3. 平成 25 年 3 月に行われた「見守り学習会」で、各マンションが立てた計画の振り返り（話し合い）
4. 話し合いの結果をマンションごとに発表
5. 平成 25 年 12 月に実施した「防災についてのアンケート」結果（報告）
6. 加古川グリーンシティ防災会の視察報告

### 2013年度の取り組み

主な取り組み(上期)		主な取り組み(下期)	
4月	「知ら咲か」暫定発足	10月	家具転倒防止器具設置・大型ゴミ回収方法検討 宝塚NPOセンターで発表
5月	社会福祉振興助成金申請書作成時に「知ら咲か」あり方検討	11月	家具転倒防止器具設置実施 ブロック餅つき大会ブース出店 ファミリーマート一丁目店開店
6月	広報紙「知ら咲か」創刊(毎月発行) 衆院選挙投票所来場車両誘導整理	12月	「知ら咲か」設立総会開催・正式発足 大型ゴミ回収実施 CLCの取材受ける
7月	災害学習会(加古川グリーンシティ防災会事例)	1月	“知ら咲か”今後の活動等についてのアンケート実施集計
8月	要望アンケート実施 夏祭りブース出店	2月	全国集合住宅団地支え合いサミットで発表(石田事務局長) 加古川グリーンシティ防災会見学
9月	「知ら咲か」会員募集開始	3月	助け合いの輪&防災活動学習会

学習会の最初に、白瀬川両岸集合住宅協議会の取り組みについて詳しい説明があり、その後、「知らせましょ咲かせましょ（通称“知ら咲か”）」設立のお話がありました。2013年4月に発足したばかりではありますが、この1年間で多くの取り組みが紹介されました。

パワーポイントにて、「知ら咲か」の取り組みを発表

学習会のメインであります、昨年に各マンションで立てた計画の振り返りでは、各グループで熱心な話し合いが行われました。「できたこと」、「できなかったこと」、「質問・つぶやき・新たに計画したいこと」等を色分けしたポストイットに書いて模造紙に貼り付けていき、みんなで確認しました。そして、話し合いのあとにグループごとに発表していきました。

計画通りにうまく進んだマンション、また、新たな課題が見つかったマンション、さまざまなコメントが発表されました。

**各グループ、握手をしてスタート!**



**各グループ、熱心に話し合われました**

**模造紙に張り出されるポストイット、  
貴重な意見です!!**



**各グループの話し合いの結果を発表**



各グループの発表のあと、久保田さんにまとめをしていただき、学習会の最後は、昨年 1 2 月に実施しました「防災についてのアンケート」の結果報告と、2 月に行いました「加古川グリーンシティ防災会」の視察報告を行い、終了となりました。

今回の学習会では、昨年に各マンションが立てた計画を振り返った訳ですが、4 月に行われます次回の学習会では、平成 26 年度の各マンションの「見守り・防災活動」について話し合う予定にしております。今回の学習会に参加できなかった方も、次回の学習会には是非参加していただき、つぶやいてみませんか? 白瀬川両岸集合住宅地域のマンション住民の皆さまの参加をお待ちしております。



# 加古川グリーンシティ防災会見学報告その2

先月号に引き続き、私たちの活動の範となる多くの加古川グリーンシティ防災会見学会時の報告を記述いたします。

当日は、防災会の大西会長、団地管理組合歴代理事長、自治会長など 9 名の方が見学や説明を行って下さいました。(写真右)



## 1. 組織について

### 加古川グリーンシティ管理組合組織

		管 掌
理事	理事長	組合の管理者
	副理事長	各委員会の長を兼任
	会計(管財)	予算、決算、出納
	書記	諸会議の会議録作成
事	自治会	
	広報委員会	広報、調査活動
	修繕委員会	建物共用部分共用施設、設備、植栽物等の維持管理
監事		会計監査等
防災会組織		諸施設の管理防災に関する啓発等
情報システム運営委員会		
諮問委員会		環境整備委員会

加古川グリーンシティは、昭和 60 年から 62 年にかけて建設された分譲マンションで 584 世帯、約 2000 人が居住しています。

管理組合は、法人化され役員任期は 2 年で、2 期の継続可、さらに 1 年休んだ後の再任も OK です。自治会は、地方自治体法 260 条の任意団体であるため管理組合傘下に位置づけ会費 300 円を自動引落とし、全員参加、役員 16 名で自治会長は管理組合副理事長が兼務しています。

防災会は、会長の任期はなく、副会長、幹事会、民生委員、班長が携わっています。主な仕事は消防施設の維持管理(報告)及び記録、防災対策案の策定及び訓練実施、事故発生時の避難及び措置等の指示、諸施設の点検、修理、取替等の立会及び確認、防災に関する啓発活動などです。防災関連の投資費用は管理組合のコントロール下にあります。

助成金に頼らず自前でエレベーターの耐震強化には補修費 1 億円、受水槽撤去と新規地上受水槽設置 2,000 万円、井戸 2 カ所 1,400 万円、インターネット回線施設 1,000 万円他を実施したそうです。これは防災会内部での十分な討議と阪神大震災の教訓からの学びを広く説明している成果でもあります。

## 2. 活動について

### ◆災害図上訓練

会議用テーブル 8 個分の大きさのマンション周辺地図上で、あらゆることを想定し確認します。参加者が災害時を想定し、地図上に書き込みを加えながらワイワイガヤガヤと検討を加え、どのような被害が起こりどのように対応したらいいかを検討し、防災力を高めるものです。誰もが楽しみ参加できるものです。地図上に地上構築物を設置し、危険場所を確認したり避難場所を考えます。マンションが最も安全という結論にたどり着くこともあります。



### ◆災害時に備えた日頃の意識付け(災害時には役割分担どおりにはいかないが・・・)

玄関扉に兵庫県安全推進委員会からの 50 万円の助成金を得て作成した役割分担ステッカーを表示しています。安全パトロール、夏祭りその他の催事、年 6 回の訓練等で顔繋ぎや意識を高めています。非常時の障害にならないよう 3 万円の罰金を 20 人から徴収するなど駐車違反に厳しく対応しています。



### ◆その他の工夫

AED 設置費用は自動販売機からの利益でまかっています。広報の“グリーンだより”はカラー A3 版裏表で毎月発行、2 月で 269 号になっています。いろいろなアイデアや交流の場として毎週土曜日午後 9 時半～午前 1、2 時頃まで千円会費の飲み会を開き毎回十数名が参加しているそうです。

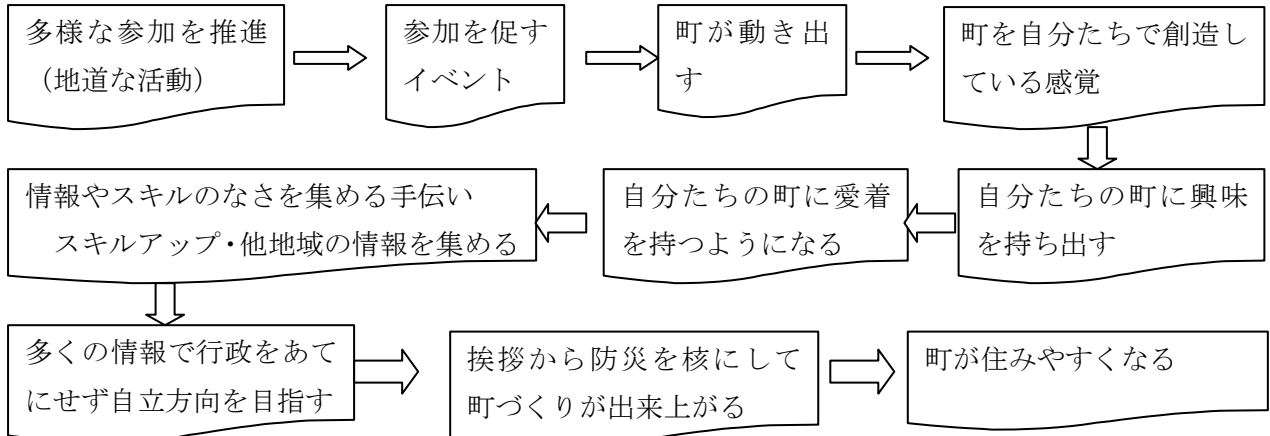
### 3. 設備について (先月号で写真掲載)

援護者階段下ろし器 (キャリダン)	一人で高所から安全に下ろす	防水敷布 200 枚 (保険対象外の TV、パソコン、冷蔵庫等の覆いにも)	高層階で火災発生時に壁床を覆い被害を低減したことも。天井壁面添付がコツ、床に敷き詰めベランダに水を流す。
いか焼器 3 台とプロパンガス 8Kg 多数	小麦粉は各家庭で常備	住宅用火災報知器	全戸に管理費で設置
ハンマー、スコップ	多数備えている	防災訓練避難場所広場	透明性の瓦・コンクリートでヒートアイランドに効果的
マンホール蓋開け鍵簡易便器	鍵はサイズの大きいもので便器は腰掛け式で覆い付き	エレベーター用救助袋	1 階画面に必要事項表示

### 4. 当日頂いた資料 (“知ら咲か” 会員の方には事務局で CD 化して無料配布を予定しています。)

楽しく防災活動	講演活動用資料	地震発生時対応マニュアル冊子	管理組合、自治会、自主防災会の活用に適したもの
防災クラウド (2012 年版冊子) 	日常生活に防災を取り入れた生活防災の啓発 防災戦略 (挨拶運動、仲間づくり、情報共有通信手段、無線機設置、簡易トイレ、備蓄炊き出し倉庫、防災井戸、弱者救護昇降機、ネットワークカメラ)	非常持ち出し本 ～あなたは何を 守るのですか～ 	守れ～自分・家族・避難 伝える～安否確認 救え命～応急手当・AED 被災者支援～認定・保険・保証 備える～持ち出し・備蓄・家具 転倒防止 想定～こんな時に災害にあったら

### 5. 町づくりについて ひょうご震災記念 21 世紀研究機構纏め (挨拶運動が最も効果的!)



### 6. 防災会の徹底したフィロソフィー

◎助かりたい人たちが助け合う (宝くじは買わないと当たらないのと同じ)

◎出てこない人は助けられない・助けないと割り切っている

◎支援する側・される側と色分けしていない (元気な人でも対象になる)

◎命と家族は自助で守ることを徹底=公助はあてにしない

◎役割分担は一応決め、いざという時は出来る人が何でもやること

◎ちからこ部約 800 名の登録一覧表はあるが公表しない (新入居者も加入)

この見学会は 8 マンションの管理組合や自治会、地域づくりの示唆に富むものでした。

# 宝塚西山住宅自治会発足

## ～ブロック内の自治会設立が加速～



### ◆管理組合法人化と理事輪番制廃止で管理組合の体制を強化

宝塚西山住宅管理組合は、理事の輪番制を廃止し、任期の延長と再任を可能として、組織を管理組合法人に替えて、本来の建物・共有部分の維持管理にウエイトを移すべく、臨時総会で規約の改定を決議しました。

### ◆住環境のソフト面は自治会で

併せて、住環境のソフト面を担う自治会を設立し、防火・防災、環境衛生、地域コミュニティ機能等を担っていくことにしました。

規約の改定と自治会の設立集会は 3 月 16 日に時間をずらして開催、夫々議決を終えました。新米自治会ですが、よろしくご指導をお願い申し上げます。

(安木)

## 恒例のバスツアー “ビッグひな祭り”

3 月 6 日（木）に 48 名の参加者で徳島県勝浦のビッグひな祭りを見学しました。

人形文化交流館の会場にはピラミッド型になんと 30,000 体の豪華なひな飾り。元祖を名乗る日本一のビッグひな祭り、一体一体のおひな様がきれいな顔で私たちを迎えて下さいました。感動しました。

おいしい昼食を頂いて、次は「おどらなそんそん」の阿波踊り体験、参加者のほとんどが舞台上で踊りました。

そして淡路島の世界のラン博覧会を見学しました。バスの中は皆様ご近所さんでなごやかなおしゃべりが続きます。いつものごとく沢山の土産を買って朝 7 時半～夜 7 時、あつという間の 1 日でした。ああ!!楽しかった。

次回は 10 月 30 日和歌山県、みかんと柿のお土産いっぱいです。

(尾川)





## 北摂里山博物館・ゆずり葉の森標識設置

県道沿いの西山住宅とアヴェルデの間に北摂里山博物館の「北摂里山 30」の一つ「ゆずり葉の森」への標識が出来ました。

「北摂里山博物館（地域まるごとミュージム）」は都会近くに残された北摂の里山地域一帯を整備し、生産活動はもとより環境学習、野外活動など、訪れる人々それぞれのニーズにあわせて利活用されることを通じ、北摂里山の持続的な保全を図り、北摂地域の活性化につなげることを目的としています。「ゆずり葉の森」は六甲山系グリーンベルト整備事業で、主に土砂災害防止を目的に整備され、傾斜があまり急ではないので散策に適しています。市街地から近く気軽に出かけられ、訪れる人も増えることでしょう。



### 4月のシネマシアター

## 世界の中心で愛を叫ぶ

片山恭一による同名ベストセラー小説をもとに映画化。純愛とその喪失感を描いた感動のラブ・ストーリー。監督、脚本は行定勲。主演に大沢たかお。その恋人に柴崎コウ。また、長澤まさみと森山未來が高校時代の2人を自然体で演じる。ラストに流れる涙を誘う平井堅の主題歌にも注目。



■上映日時 4月13日（日）13時より ■会場 逆瀬台マンション

### 今月のトピック

## 桜の季節

桜のように華麗でありながら一瞬のうちに咲き、散ってしまう花は少ないのではないのでしょうか？

寒い冬が終わり開花することで人々の活動を活発にさせる不思議な力が宿っています。一週間から十日間くらいの花見期間は雨によってさらに短くなります。

この地域にも見事な桜の木が多数見られます。

桜の花の下で、交流を深める色々なグループの企画が予定されているようです。

西高前からゆずり葉公園を臨む



4 月 APRIL 各マンション サロン・教室 予定表

日	月	火	水	木	金	土		
*各マンション行事、催事ご担当の皆さんへ「次月日程の変更、お知らせなどがありましたらご連絡ください。ご連絡は逆瀬台マンション507号花房のポストへ。」		1	2	3	4	5		
		●すこやかサロン (川)	●お元気講座 (グ) ●ピンポンクラブ (川) ●ふれあい喫茶ブロッコリー (台)	●シニアピンポンクラブ (台) ●午後のふれあいサロン ひまわり (バ)	●カラオケラブ (川)	●民謡教室 (住) ●ピンポンクラブ (川) ●ふれあいサロンアヴェルデ (ア)		
		6	7	8	9	10	11	
		●裏山ハイキング (グ) ●白瀬川絵画サークル (台)	●カラオケ教室 (川) ●シニアピンポンクラブ (台)	●すこやかサロン (川)	●遊湯会 (グ) ●遊楽里西山 (西) ●ピンポンクラブ (川) ●のびのび体操教室 (台)	●シニアピンポンクラブ (台)	●カラオケラブ (川)	●ピンポンクラブ (川)
		13	14	15	16	17	18	
		●裏山ハイキング (グ) ●シネマアター (台)	●おしゃべりサロン (グ) ●カラオケ教室 (川) ●シニアピンポンクラブ (台)	●すこやかサロン (川)	●ピンポンクラブ (川) ●のびのび体操教室 (台)	●シニアピンポンクラブ (台)	●カラオケラブ (川)	●ピンポンクラブ (川) ●民謡教室 (住)
20	21	22	23	24	25			
●裏山ハイキング (グ)	●カラオケ教室 (川) ●シニアピンポンクラブ (台)	●すこやかサロン (川)	●ピンポンクラブ (川) ●のびのび体操教室 (台)	●シニアピンポンクラブ (台)	●カラオケラブ (川)	●なごみサロン (住)		
27	28	29	30	(ア) アヴェルデ (西) 宝塚西山住宅 (グ) グリーンハイツ (バ) パークマンション (シ) シャンティ (住) 逆瀬台住宅 (台) 阪急逆瀬台マンション (川) 逆瀬川マンション *他マンション行事にご参加ご希望の方は事務局迄御連絡下さい。				
●裏山ハイキング (グ)	●おしゃべりサロン (グ) ●カラオケ教室 (川) ●シニアピンポンクラブ (台)	●すこやかサロン (川)	●ピンポンクラブ (川) ●シャンティサロン (シ)					

【編集後記】

三月十六日のワークショップで大きな拍手が起きました。西山住宅の方から当日午前に開かれた管理組合総会で『自治会発足』という朗報でした。

六年前の実質ゼロ状態からは想像もできないほど八つのマンションの情報共有と白瀬川ブ洛克住民の交流による賜物ではないでしょうか。

イザというときに有効に機能する自助・向三軒両隣の共助の原点として『ふれあいサロン』は全てのマンションで毎月開催され助け合いの輪も4つ活動中！

【安全で安心・このまちに住んでいて良かった】住民の大方の皆様にそう感じていただける日が来るのも楽しみになってきました・・・。

四月二十日の第二回ワークショップへのご参加をお待ちしています！六十五歳からの人生が本物で本番といわれる外山滋比古先生の「老楽力」「失敗談」は過去5千冊のいかなる読書も見劣りがするほど感銘をうけました。外山先生の体験談は少子高齢化の時代にこそ求められる生きざまであり新たな希望を抱くことができる光明を見いだせる指針と感じています (I)